

□ 「みんなで学ぶネットモラル」の活用～中学校での取組～

人権学習教材「わたし かがやくーみんなで学ぶネットモラル」は、2008(平成20)年11月の発行後、県内各学校における人権学習等の取組にご活用いただいております。

教材の中でも記されているように、インターネットの利用は、中学生では、パソコンでの利用の方が多くなっていますが、携帯電話での利用は、小学生に比べると多くなっており、さらに高校生になるにつれて多くなっています。



このような状況をふまえ、松阪市立中部中学校では、教職員研修を通して生徒や学校の実態に応じたネットモラルに係わる学習内容が計画され、「みんなで学ぶネットモラルー中学・高校生版」を活用した人権学習が取り組まれました。

◇ 学習をふり返ってー生徒の感想（第1学年より）

- 情報が本当かどうか、いろいろな人に聞いてみるのが大切だ。
- ケータイを持つことは、別に悪いことではないと思うけど、気をつけて使わないといけないと思いました。私は、ケータイを持っていないけど、いずれ持つと思うので、気をつけて使いたい。
- 今までいじめる側になっていたり、見て見ぬふりをしたりしていました。いじめられるのは嫌だけど、自分がいじめたり、書き込んだりすることは、もっと嫌だ。これからは自分の直せる所をもっと直していきたい。

- 自分は裏サイトとかに書き込みしたことはないけど、悪口はいっぱい言っています。今日も言ったし、いつも思っていたり、友だちと言ったりしています。自分が言われているのも知っているけど、知ったら、またその人の悪口を言います。自分のことを何でも話せる人はいません。でも、すぐに悪口を言っている自分がとてもイヤです。それでも友達に話を合わせて言っています。「じゃないと嫌われちゃう・・・」と思います。でも、「話を合わせないとくずれてしまう関係はいらないな」とも思いました。嫌われてしまうのはすごく怖いしイヤだけど、自分に合う友だちを探したい。



◇ 授業をふり返ってー教職員の感想

- 人とのつながり、自分の振り返りができている生徒が多かった

のがよかった。自分の弱みを出せていた。

- 頭ではわかっているけど、実際に行動や姿勢となるとどうしてよいか分からない。行動に移していくためにはどうしていけばよいかを生徒と共に考えていきたい。
- ネットモラルから、身の回りのことや自分のクラスのこと、また、友達関係について、自分を見つめ問いただす機会になった。今後、子どもたちが生活の中で、人の痛みを受け止め、行動できるかどうかは課題である。時間のかかることだが、今後も、子どもたちと関わり、繰り返し指導や学習をしていくことで仲間づくりを進めていきたい。



◇ 公開授業に参加してー参加者の感想

- まず、「何で携帯を持つのか」という問いを軸として「小学校から持っていた人」「中学校で持った人」「これから持ちたいと思う人」と子どもたち自身のこととして考えさせ、興味を引いて、その後のことに結びつかせていった流れにとっても感心しました。「プロフ＝自己紹介」「ブログ＝日記」と大きく書いたり、子どもたちの発言を中心として黒板をうめていったりしたこともわかりやすかった。
- 携帯を持っていない子についても、我が事として考えられるよう、「自分は持っていないし・・・」ということにならないよう、これからも一続きの人権学習として取り組んでいただくのだと思いました。人間関係やコミュニケーションのあり方を考えるという視点が明確になれば、他人事ではなくなると思いました。